

令和元年度宮城県志教育支援事業（推進地区指定）

白石地区：白石市立福岡中学校区の取組

【推進校】白石市立福岡小学校，白石市立深谷小学校
白石市立福岡中学校
宮城県白石工業高等学校
宮城県立角田支援学校白石校



【実践事例発表会 ワークショップ】

【目 標】テーマ「ともにつくろう白石の未来
～White Will（しろい志）～」

【取組の概要】

- 1 フラワーラインプロジェクト（小・中・高・支）
高校生がプランターの枠を製作し，児童生徒が苗を植栽，枠へ彩色を行う。完成品を公共施設，学校に設置する。
- 2 こじゅうろうキッズランドものづくり教室（小・中・高）
キッズランドに来場する幼児に対して，工業高校生の指導のもと，児童生徒がキーホルダーづくりや機関車乗車体験の活動を行う。
- 3 部活動交流会（中・高）
中学校のバレーボール部，卓球部の生徒が，工業高校の生徒・顧問の先生から指導を受け，高い技術の習得と部活動への取り組み方を学ぶ。
- 4 紙すきによる封筒づくり（中・高・支）
牛乳パックを原料とした紙すきを行い，福岡中学校の立志式において，親子の手紙交換時に使用する封筒づくりを行う。
- 5 立志式（小・中・高）
福岡中学校の立志式において，高校生（福岡中学校卒業生）から「後輩への言葉」を送る。親子の手紙交換時に紙すきによる封筒づくりの封筒を使用する。小学生は，立志式の様子をビデオで視聴し将来について考える機会とする。
- 6 志教育実践事例発表会（小・中・高・支）
校種を超えて実践した取組を報告し，その後グループに分かれワークショップを行い，活動を振り返りながらこれから実践していきたいこと等を語り合い，地域とのつながりの大切さや未来に向けての提言を発表する。

【成 果】

- 志教育を他の学校や地域と連携することで，児童生徒の社会性が育ち，発達段階に応じた広い視点から体験活動を行うことを通して，自己有用感の高まりを感じ取ることができた。
- ものづくりを中心とした体験活動を通して，学校同士のつながりが深まるとともに自分の住んでいる地域の良さを再発見でき，自ら進んで地域とかかわっていかうとする意欲が高まった。
- 社会の一員として自分は何ができるのか，未来をどのようにつくっていききたいのかを深く考えることができた。

【課 題】

- ◆小・中・高・支援校との5校が連携した事業であったが，大変得るところが多かった。今後も継続できるように，各校や地域との連携をさらに深めて行く必要がある。
- ◆学校・家庭及び地域における学習や生活の見通しを立て，振り返りを行い，志教育の推進を図るために，小・中・高等学校等のつながりを明確にし，「志シート」の共有化，活用の仕方等を検討していきたい。